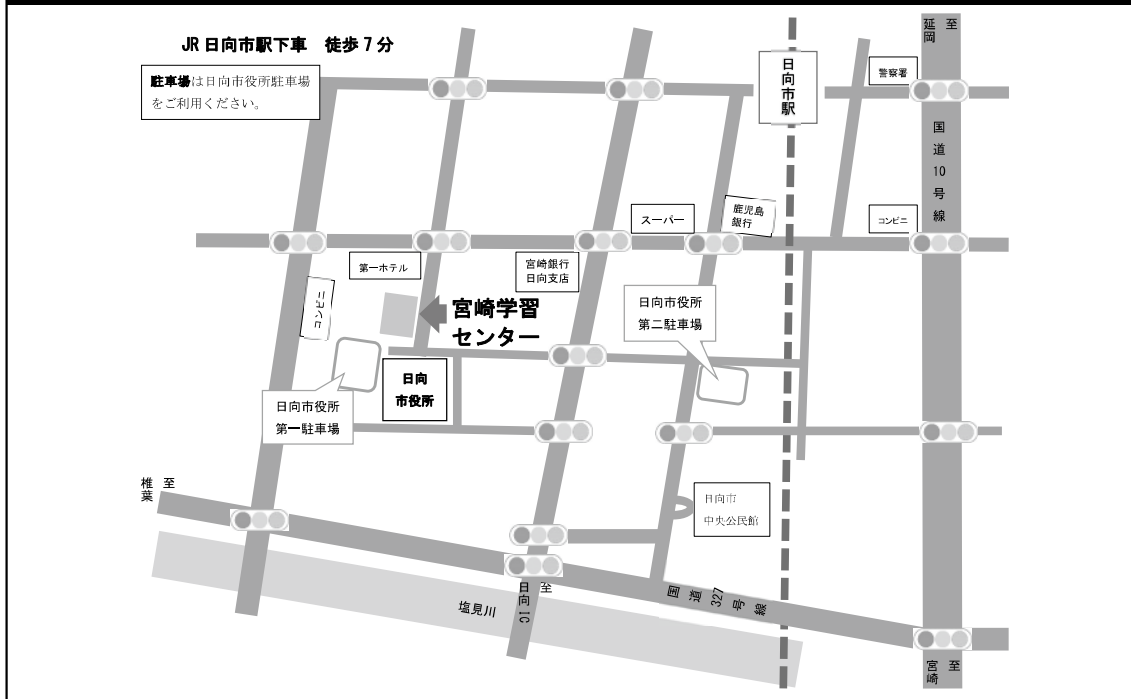


宮崎学習センター

(コード：45A)

宮崎学習センター案内図

☎0982-53-1893



【所在地】〒883-8510 日向市本町11番11号(日向市役所隣)

【交通アクセス】

- (1) JR日豊線 日向市駅下車 徒歩7分
- (2) 宮崎交通バス(延岡線・宇納間線)「商工会館通りバス停」下車 徒歩3分
- (3) 駐車場 日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】

- ・宿泊施設 宮崎学習センターにご相談ください。

科目コード	2678560	授業概要	【授業内容】 この授業では、東アジアにおける稲作の歴史について、近年行われてきた国内外の調査研究やその最新の成果を紹介しながら、概説します。 また、メディアで報道される古代の農耕や環境に関する最新の科学データが、実際にどのような材料からどのような方法でもたらされているかを解説します。さらに、その方法の一つであるプラント・オパール分析法を実際に実習していただき、「歴史を科学する」現場を体験してもらいます。 【到達目標】 東アジアの稲作技術の成立のメカニズムについて理解し、社会システムの発達過程（自給自足型社会から今日の都市型社会）における「食料生産システムとしての水田稲作技術の位置づけと役割を説明することができる。」 【授業テーマ】 第1回 農耕開始のメカニズムの最前線（人は何故、農耕を始めたのか？） 第2回 稲作の始まり（起源）を探る（先人達の取組とその成果と問題点） 第3回 新しい研究手法の登場とその成果（近年の国内外の調査の概要） 第4回 稲作の発達と拡散（中国から日本への伝播） 第5回 稲作の発達と環境の変化（農業生態系、都市の形成） 第6回 歴史を科学する様々な方法（花粉分析、プラント・オパール分析、年代測定法など） 第7回 プラント・オパール分析法の実習（遺跡土壌の分析） 第8回 稲作史研究の課題とこれから 【学生へのメッセージ】 稲作の歴史は、日々研究によって次々と新しいものに更新されています。「歴史を科学する」最前線の研究の現状と研究成果を学び、体験するとともに、稲作の発達と私たちの社会や環境との関係についても考えてみてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	最新の成果からみた稲作の起源		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	ウダツ テツロウ 宇田津 徹朗 宮崎大学 農学部教授 宮崎学習センター客員教員	授業概要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・フィールド科学の入口 イネの歴史を探る（佐藤洋一郎、赤坂憲雄／玉川大学出版部／¥2,640／ISBN=9784472182013） ・稲の考古学（中村慎一／同成社／¥2,970／ISBN=9784886212566） ・農耕の起源を探る－イネの来た道－（宮本一夫／吉川弘文館／¥1980／ISBN=9784642056762） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月19日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2678551	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 コミュニケーションと聞くと、何を想像しますか？人と人とのやり取り、意思の伝達などでしょうか？この授業では、まさにそういった我々の日常を、顕微鏡で覗くように見ていきます。そこには今まで当たり前過ぎて気づかなかった会話の仕組みが見えてきます。「お早う！」と言ったら当たり前に「お早う！」が返ってくる、そんな我々の日常がどんな仕組みを持って構築されているのか一緒に紐解きましょう。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	コミュニケーションの 仕組を学ぶ		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	福島 三穂子 宮崎大学 地域資源創成学部准教授 宮崎学習センター客員教員	授 業 概 要	【到達目標】 コミュニケーションの理論を学ぶことで、コミュニケーションを分析する方法を身につけ、今まで当たり前すぎて気づかなかった自分の日常生活の細部を、新しい視点や方法を使って説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 イントロダクション：会話分析とは？ 第2回 会話の仕組み1：「順番交替」我々はどうやって会話の中で話す機会を得ているの？ 第3回 会話の仕組み1：「順番交替」の仕組みを実際のデータの中から調べよう 第4回 会話分析を使った研究：宮崎の中山間地域における「食」の継承 第5回 会話の仕組み2：「連鎖組織」我々はどうやって会話の流れを作っているの？ 第6回 会話の仕組み2：「連鎖組織」の仕組みを実際のデータの中から調べよう 第7回 会話分析を使った研究：「順番交替」や「連鎖組織」の仕組みを使った分析とは？ 第8回 まとめ：データ作成と発表 【学生へのメッセージ】 基本的に、ペアワークを行いながら講義を進めます。受け身で講義を聞くだけでなく、クラスメートと話し合いながら内容理解をする講義スタイルですので、受講生には積極的な参加が求められます。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する課題への取り組み姿勢、主体的な学習状況、試験（発表）の評点により行います。
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月26日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・会話分析の基礎（高木智世・細田由利・森田笑／ひつじ書房／¥3,850／ISBN=9784894768260） ・会話分析入門（串田 秀也・平本 毅・林 誠／勁草書房／¥3,520／ISBN=9784326602964） ・エスノメソドロジー：人びとの実践から学ぶ（前田泰樹・水川喜文・岡田光弘／新曜社／¥2,640／ISBN=9784788510623） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2678578	授 業 概 要	【授業内容】 本講義では、南九州の事例として宮崎県を北九州の事例として佐賀県を取り上げ、伝統文化の中でもなじみの深い伝統的飲食文化、具体的には、地域で長年育まれてきた地酒と副食（おかず）であり、肴の中心を成してきた魚介料理について、両地域を比較しながら九州、さらにはわが国の伝統的食文化について、その特徴を明らかにし、ユネスコの無形文化遺産に登録された和食のルーツをめぐる地理学の旅に受講生をご案内します。 【到達目標】 同じ九州内の2地域を比較検討することによって、共通する文化基層の存在と異なる文化事象の存在に気づき、そういった文化の共通性と相違性の背景に、どのような理由・要因があるのかについて理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 導入 日本および九州の伝統的飲食文化の展開 第2回 宮崎県における酒文化の展開 第3回 宮崎県における伝統的魚介料理の展開 第4回 宮崎県における伝統文化を核とする旅 伝統文化の活用法 第5回 佐賀県における酒文化の展開 第6回 佐賀県における伝統的魚介料理の展開 第7回 佐賀県における伝統文化を核とする旅 伝統文化の活用法 第8回 講義の総括 【学生へのメッセージ】 皆さん方にとって、とても身近な食文化に関する講義です。テキストは、2冊購入すると、講義内容がわかりやすいと思いますが、お金がかかるので、テキストがなくてもわかる授業を行います。ただし、その場合でも宮崎県立図書館などでテキストを事前に読んでおいてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 ・宮崎だれやみ論 酒と肴の文化地理（中村周作／鉦脈社／¥1,980／ISBN=9784860613082） 【参考書】 ・佐賀 酒と魚の文化地理（中村周作／海青社／¥2,640／ISBN=9784860993399）
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	飲食文化にみる 南・北九州の比較		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ナカムラ シュウサク 中村 周作 宮崎大学名誉教授		
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月26日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎県技能検定センター 視聴覚室 (宮崎市学園木花台西2丁目4番地3)		

科目コード	2678586	授 業 概 要	【授業内容】 私たちのまわりにはたくさんの「描かれたもの」があります。美術館に展示されている難解なテーマの絵画作品も、教科書の角の落書きも、作者の「描く」という行為への欲がはじまりです。そして、目の前の「描かれたもの」をより良くしたいという欲から、様々な絵画技法やメディアが生まれてきました。そんな考えのもと「お絵描きしりとり」から「透視図法」までを体験しながら絵画表現に繋がる「描く」ことについて学んでいきます。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 絵画表現につながる視覚効果を理解し、それらを効果的に自身の作品制作に活用できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「描く」とは？、伝えるための「描く」：「お絵描きしりとり」を楽しむ 第2回 三次元を「描く」：斜方眼を使って 第3回 色を使って「描く」：色鉛筆を使って 第4回 作品制作としての「描く」：本日の集大成 第5回 三次元を「描く」：透視図法1 第6回 三次元を「描く」：透視図法2 第7回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成1 第8回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成2
科目名	「描く」を学ぶ		【学生へのメッセージ】 「描く」ことを楽しめる講義にしたいと思っています。「描く」ことに対しポジティブな気持ちで受講して下さい。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業時間中に制作する作品とその取り組みに加え、授業時間中のレポートを加味して行います。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 50センチ定規（大手100円ショップで販売しています）、色鉛筆（12色以上のセット）、筆記用具
担当講師	オオイズミ ヨシヒロ 大 泉 佳 広 宮崎大学 教育学部准教授 宮崎学習センター客員教員		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月2日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		【その他（特記事項）】 美術系の方で、鉛筆デッサン用具やコピック等の使い慣れた持参用具の使用は基本的に認めますが、クレヨン等の油性系の素材や筆洗が必要な道具の使用は、他の受講者や会場の関係上、控えてもらう場合があります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 教育学部美術棟講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地)		

科目コード	2668793		【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目：心理と教育	授 業 概 要	この授業では、3つの基礎的な心理学実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することを学びます。予定している実験は、「イメージ測定（SD法）」、「ストループ効果」、「鏡映描写」の3種類です。実験終了後は、得られた結果をレポートとしてまとめていきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてにレポートを提出する必要があります。
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	イノウエ ヒロヨシ 井上 浩義 宮崎学園短期大学 保育科教授		
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月9日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	授 業 概 要	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学の実験とは（実験計画の立案、レポート執筆指導） 第2回 統計に関する基礎的な知識 第3回 実験1「イメージ測定（SD法）」の実施 第4回 実験1「イメージ測定（SD法）」の解説、データ整理、レポート執筆指導 第5回 実験2「鏡映描写」の実施 第6回 実験2「鏡映描写」の解説、データ整理、レポート執筆指導 第7回 実験3「ストループ効果」の実施 第8回 実験3「ストループ効果」の解説、データ整理、レポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 実験を実施するにあたってパソコンを使用しますので、基本的な操作は習得されていることを望みます。実験手続きや内容について、疑問があればその場で解決していくよう、授業への積極的な参加を求めます。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学修した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的な知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・表計算ソフトのExcel（エクセル）が必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポートを提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 ・電卓、定規、色鉛筆（グラフ作成のため）が必要です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会 認定心理士資格認定委員会 編／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） 参考書のため、購入の必要はありません。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業では、色識別を要する実験課題があります。
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2678527	授 業 概 要	【授業内容】 「リテラシー（literacy）」とは、広辞苑によると「読み書きの能力」だけではなく、「ある分野に関する知識・能力」と説明されています。したがって、本講座のさす、「租税リテラシー」とは、「広く国民が税制に対し自然な状態で基本的な理解ができる能力」と定義したうえで講義を行います。また、租税には欠かすことのできない「会計」についても触れ理解を深めます。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	会計と租税リテラシー		【到達目標】 租税の基本理論である「租税法主義」を理解できるようになる。また、会計にも触れ、個人所得税の確定申告書について理解できるようになる。
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	20名		【授業テーマ】 第1回 はじめに・租税とは 第2回 会計1（仕訳） 第3回 会計2（決算整理） 第4回 財務諸表（貸借対照表および損益計算書） 第5回 所得税法1：サラリーマンの確定申告 第6回 所得税法2：確定申告（全般） 第7回 贈与税・相続税 第8回 まとめ
担当講師	サカモト ケイコ 坂本 敬子 宮崎大学 地域資源創成学部講師 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月16日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館 3F「さくら」 (宮崎市旭1-3-10)		【学生へのメッセージ】 初挑戦の方は難しく感じるとと思います。でも、専門用語に慣れ意味を覚えれば、思うほど難しくはありません。例えば、自転車の初挑戦と似ています。その頃のように、少し頑張ってもらえたらと思います。
			【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、事前学習として指定教科書に目を通すことを勧めます。授業で学修した内容を活用して復習を行い、理解を深めてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 指定教科書、電卓（携帯の電卓機能では対応できません。）、筆記用具
			【教科書】 ・簿記を学ぶ～経済常識としての簿記入門（田中弘／税務経理協会／¥1,980／ISBN=4419054387）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 当日、必要がある場合は、プリントを用意します。

科目コード	2668610	授 業 概 要	【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からのパソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	16名		
担当講師	サカモト マコト 坂本 真人 宮崎大学 工学部工学基礎教育センター教授 宮崎学習センター客員教員	授 業 概 要	【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。
日程実施時間	11月22日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月23日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	授 業 概 要	【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り
			【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
			【受講前の準備学習等】 「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラパスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配付する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。
			【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証・システムWAKABAパスワード（ログイン操作を伴う実習があります。）を必ずお持ちください。
			【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学） ※授業当日に配付します。 ※必要に応じてプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）面接授業「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位修得済みの方は登録できません。

科目コード	2678519	授 業 概 要	【授業内容】 ビジネスには相互の信頼関係づくりが重要です。私たちがビジネスパーソンとして業務を遂行するには有していなければならないスキルがあります。その中でも基本的なスキルとして、ビジネス・コミュニケーション・スキルが重要であると考えます。ビジネス、ビジネスパーソン、信頼関係構築、コミュニケーション、マナー、これらのワードの意味を関連・関係性で理解し、AIの活用が進み、より効率化が図られる現代社会においてこそ必要とされる「ビジネスマナー」を理解し、身に付けたいと考えます。 【到達目標】 ・ビジネスには「相互の信頼関係づくり」が重要であることを理解し、ビジネスシーンにおける「人間関係の構築」の基本に気づくことができる。 ・「物事は単体では意味をなさず繋がってこそ意味を成す」を理解し、様々な繋がりがや関連関係性を観察し自ら最適解を見いだすことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 授業概説（学習内容と到達目標） 第2回 ビジネスマナーの基本 1. ビジネスパーソンとマナー 第3回 ビジネスマナーの基本 2. 自己表現（秘書的センスを応用） 第4回 ビジネスマナーの基本 3. ビジネスの言葉遣い 第5回 ビジネスマナーの応用 1. ビジネス会話と応対マナー 第6回 ビジネスマナーの応用 2. ビジネス電話のマナー 第7回 ビジネスマナーの応用 3. お茶のもてなしと交際のマナー 第8回 ケーススタディと授業のまとめ 【学生へのメッセージ】 ビジネスシーンにおいて、相応しい対応の仕方に迷ったことや失敗談をノートに記録（メモ程度）して授業に臨んでください。第8回の授業時に皆さんで考え、最適解を導きだしましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	ビジネスマナー入門		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	35名		
担当講師	ユキザキ チハル 柚木崎 千春 南九州大学 短期大学部教授	授 業 概 要	
日程実施時間	11月22日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月23日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	南九州大学 宮崎キャンパス講義室 (宮崎市霧島5丁目1番地2)		

科目コード	2678535	授 業 概 要	【授業内容】 食肉は動物の筋肉組織に由来する、貴重なたんぱく質源です。生きた動物から得た筋肉は、様々な変化を経て、食肉となり私たちの食卓を飾ります。また、食肉の一部は様々な食肉製品に加工され、その付加価値を高めます。この講義では、私たちの食事の主役となりつつある食肉と食肉製品を科学的な視点で解説し、食肉の品質、調理や加工、健康的な摂取などについて理解を深めます。 【到達目標】 ・食肉の栄養学的な価値について説明できる。 ・肉の熟成や保存が、食肉の品質に及ぼす影響について説明できる。 ・ハムやソーセージなどの食肉製品の製造工程と品質について説明できる。 ・食肉の衛生品質について理解し、最適な保存方法を提案できる。 【授業テーマ】 第1回 肉食の文化 第2回 食肉の栄養 第3回 食肉の起源～筋肉から食肉への変化～ 第4回 食肉の熟成と保存 第5回 食肉の品質①～格付のお話～ 第6回 食肉の品質②～食肉・食肉製品の嗜好性～ 第7回 様々な食肉製品とその製造法 第8回 食肉の衛生 【学生へのメッセージ】 この講義を通して、食肉や食肉製品への理解を深め、日頃の食生活をより豊かなものにしていただけると嬉しいです。 【受講前の準備学習等】 受講前に日頃の食事ではどのようなものを食べたか、感じた味や匂いなど、自身の食行動と経験を言語化できるよう、よく観察しておいてください。また、授業で学修した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	食肉の科学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	カワハラ サトシ 河原 聡 宮崎大学農学部教授		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月30日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地)		
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・乳肉卵の機能と利用（玖村朗人、若松純一、八田 一 編著／アイ・ケイコーポレーション／¥4,070／ISBN=9784874923542）

科目コード	2675277	授 業 概 要	【授業内容】 この講義では、不安障害や発達障がいなどの精神疾患、論理療法や行動療法などの認知行動療法の心理療法、さらにストレスとその対処法などについて学びながら、臨床心理学を概観します。できるだけ日常生活でも役立つようなトピックを扱います。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 心理社会的ストレスモデル、論理療法、オペラント条件づけなどの心理学的枠組みを用いて、さまざまな問題を分析し、適切な問題解決ができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 不安障害（限局性恐怖症やパニック症、強迫症、PTSDなど）とその治療に効果のあるエクスポージャー療法について学ぶ 第2回 発達障がいと支援について学ぶ 第3回 不適応の原因となっている非合理的な考え方を変える論理療法を学ぶ 第4回 ストレスとその対処法について学ぶ 第5回 ヒトや動物の行動変容技法であるオペラント条件づけ/行動分析（強化の原理）を学ぶ 第6回 ヒトや動物の行動変容技法であるオペラント条件づけ/行動分析（弱化的原理）を学ぶ 第7回 ヒトや動物の行動変容技法であるオペラント条件づけ/行動分析（消去の原理）を学ぶ 第8回 カウンセラーの資格、臨床心理士と公認心理師について学ぶ
科目名	臨床心理学		【学生へのメッセージ】 補助教材（レジュメ）のプリントを配付する時限もあります。 成績評価の試験の際は、講義のノートとレジュメを参照可にします。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	35名		【受講者が当日用意するもの】 ノートや筆記具以外で特に必要なものではありません。
担当講師	ミヤノ ヒロユキ 宮 野 秀 市 宮崎大学 安全衛生保健センター講師		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月30日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地)		

科目コード	2668815	授 業 概 要	【授業内容】 心理検査はパーソナリティの測定に用いられるものです。この授業では、まず心理検査の基本的な内容について学びます。その後、各心理検査を体験し、その内容や結果、考察についてレポートにまとめます。また、心理検査を体験すると共に、倫理的配慮や人間理解の奥深さ、難しさについても学んでいきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの検査すべてにレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	オザワ タクヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授		
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月7日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 (宮崎市老松2-1-17)		【授業テーマ】 第1回 心理検査についての概説 第2回 「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」実施と結果の整理 第3回 「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第4回 「YG性格検査」実施と結果の整理 第5回 「YG性格検査」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第6回 「バウムテスト」実施と結果の整理 第7回 「バウムテスト」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第8回 心理検査における倫理的配慮、まとめ
			【学生へのメッセージ】 授業内では様々な専門用語がでてきますが、ただそれを覚えるだけではなく、「心」や「行動」の考え方を学ぶという姿勢を心がけてください。
			【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学修した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 レポートは、手書きでもパソコンを使用して作成してもかまいません。 空き時間等でノートパソコンを使用してレポートを作成したい方は、本会場にはプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 HBの鉛筆と消しゴムを用意してください。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2678594	授 業 概 要	【授業内容】 1945年にヒトラー政権が崩壊したのち、ドイツは長い東西冷戦を経て、ベルリンの壁が崩壊し、1990年に再統一を果たしました。16年間続いたメルケル政権は2021年に幕を閉じましたが、現在のドイツはアメリカ、ロシア、中国などとの不安定な関係の中で変革の途上にあります。本科目では、自然、政治、歴史、宗教、芸術など複数の視点から現代のドイツの状況を分析し、その一貫性と矛盾を探ります。さらに、ナチス時代の歴史が現代とどのように結びついているのかを、「想起の文化」の観点から考察します。過去の記憶の継承や変容が、現代社会や政治にどのような影響を与えているのかを理解し、歴史と現在の関係性を深く考察することを目指します。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	現代ドイツの 社会と文化		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コヤ タケシ 胡 屋 武 志 宮崎大学 多言語多文化教育研究センター教授 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月14日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館 3F「さくら」 (宮崎市旭1-3-10)		
			【到達目標】 ・現代ドイツ社会の全体的なイメージを形成し、このイメージとともに異文化としてのドイツを理解できるようになる。 ・一つの社会を多角的に見ることを通じて、通常とは違った角度から自分自身と自分が属する社会を考察することができるようになる。 ・善悪や美醜、価値の有無などに基づく二項対立思考を緩和し、知らぬ間に身に付けている先入観を自覚し、そこから抜け出すことができるようになる。
			【授業テーマ】 第1回 現代ドイツの概要 第2回 ドイツ人の自然観と宗教観（1） 第3回 ドイツ人の自然観と宗教観（2） 第4回 ヒトラー、ナチスの時代と過去の克服（1） 第5回 ヒトラー、ナチスの時代と過去の克服（2） 第6回 ベルリンの壁と東西分断（1） 第7回 ベルリンの壁と東西分断（2） 第8回 総論に代えてー現代ドイツにおける「想起の文化」ー
			【学生へのメッセージ】 本科目では、現代のドイツについて知ること、日本の新しい側面を知るきっかけになることも目指されます。質問やディスカッションの時間を取ることも考えています。皆さんの積極的な参加を期待しています。
			【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2678543	授 業 概 要	【授業内容】 本講義では、メンタルヘルスをセルフマネジメントするための見識を深めていきます。人々の健康は身体的、精神的、社会的健康が有機的に連動して保たれていることを前提にメンタルヘルスを考えていきます。また、人類の進化過程を踏まえてメンタルヘルスに関する歴史を辿り、どのように豊かな人生を過ごしていくかを検討していきます。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 ・人間の健康にとって、精神の働きが重要であることを理解できる。 ・ライフサイクルを通して精神の危機状態を知り、精神保健としての心のありようを理解できる。 ・大きなストレスに追い込まれた時に、人間の精神と身体がどのようにに変化するのか理解できる。 ・精神の健康を保つための具体的方法について理解できる。 ・心の健康を保持・増進するため自己理解の必要性が理解できる。
クラスコード	K		
科目名	精神保健学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	カワムラ ミチコ 川村 道子 宮崎県立看護大学 看護学部教授 宮崎学習センター客員教員		【授業テーマ】 - 第1回 現代社会の特徴とメンタルヘルス - 第2回 自己のメンタルヘルスの客観視 - 第3回 24時間の生活と精神保健① - 第4回 24時間の生活と精神保健② - 第5回 24時間の生活と精神保健③ - 第6回 身体と精神保健 - 第7回 社会関係と精神保健 - 第8回 まとめ
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月21日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		【学生へのメッセージ】 本講義での学びを、これからの人生を豊かに過ごすために活かしていただきたいと考えています。知識の獲得が目的ではなく、実践できることを目指します。
実施会場	宮崎県立看護大学 多目的ホール (宮崎市まなび野3丁目5番地1)		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【教科書】 教科書は使用しません。